

寄居町人口ビジョン

策定しました!

寄居町まち・ひと・しごと創生総合戦略

日本の人口は、2008年（平成20年）以降に減少を始め、少子高齢化の進展により、今後も続いていくことが予想されています。この状況は寄居町も例外ではなく、町が将来に渡って活力を保ち、持続的に発展していくため「寄居町人口ビジョン」、「寄居町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

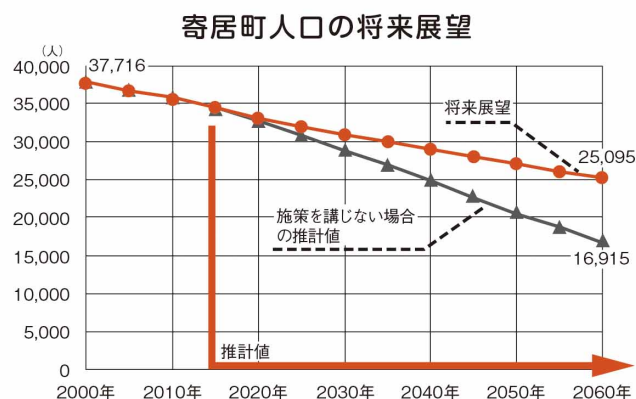
計画の内容は、町公式ホームページでご覧いただけます。

問い合わせ／総合政策課（☎581・2121内線461）へ。

寄居町人口ビジョン

寄居町の人口は2000年（平成12年）の37,716人をピークに減少に転じ、今後もこの傾向が続くとすると、2060年（平成72年）には、16,915人まで減少することが推計されています。

寄居町の現状分析や町民の皆さんからいただいた「将来の暮らしアンケート」の結果を基に、さまざまな取り組みを進め、2060年に約25,000人の人口を確保することを目指します。



寄居町まち・ひと・しごと創生総合戦略

2060年に約25,000人の人口を確保するため、2015年度（平成27年度）から2019年度（平成31年度）の5年間を計画期間として、下記に示す4つの基本目標を定め、さまざまな事業を展開していきます。

雇用	寄居町に安定した雇用を創出する	若者	若い世代が将来に希望をもって、安心して結婚・出産・子育てができる環境を整える
移住	町出身の若い世代が戻りたくなる、町外出身者が住みたくなるまちの魅力再生と移住促進により、人の流れを変える	持続	人口減少を踏まえた持続可能なまちをつくる

寄居町が町内外の皆さんから「選ばれるまち」になるため、特に重点的に取り組む事業を3つのシンボルプロジェクトとして実施していきます。

**寄居の未来に投資!!
よりの教育
プロジェクト**

教育環境の充実、国際社会に対応する人材育成支援などによる教育プロジェクト

**寄居の未来をつなく!!
輝く女性応援
プロジェクト**

寄居町創生戦略プロジェクトの女性支援をさらに充実させるプロジェクト

**寄居の未来を創る!!
頑張る若者応援
プロジェクト**

町の未来を担う若者をライフステージのさまざまな面で支援するプロジェクト

寄居町次世代育成支援対策行動計画 (平成22~26年度までの5カ年計画)

子育て支援サービスなどの目標事業量を設定し、具体的な取り組みを推進しています。26年度の実績・評価については、以下のとおりです。

事業名	指標	26年度 目標事業量	26年度 実績事業量	26年度 評価
①通常保育事業	定員	公立450人 私立237人	公立450人 私立247人	順調
②延長保育促進事業	箇所数 利用者数	5カ所 100人	5カ所 延べ2,974人	順調
③一時保育事業	箇所数 利用者数	4カ所 40人	6カ所 576人	順調
④障害児保育事業	箇所数	公立4カ所 私立4カ所	公立4カ所 私立4カ所	順調
⑤放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	箇所数 定員	6カ所 330人	7カ所 264人	順調
⑥ファミリー・サポート・センター事業	箇所数 利用者数	1カ所 50人	1カ所 登録者は、依頼会員（預ける）6人、提供会員（預かる）6人で、相互援助活動（放課後児童クラブの迎え）延べ174人（実利用人数1人）	遅れている
⑦地域子育て支援センター事業	箇所数	3カ所	4カ所	順調
⑧保育所整備事業	箇所数	3カ所	3カ所	順調
⑨子育て支援のネットワーク化	-	6カ所以上	6カ所	順調

※⑧については、5カ年間での実績です。

ピカソが寄居にやってきた! 「出張美術館in寄居」開催! 約8000人が来場しました

町では、12月12日と13日に総合体育館・アタゴ記念館で「出張美術館in寄居」を開催し、内覧会と合わせて8,052人の来場者がピカソやルノワール、岡本太郎氏といった有名芸術家や、原清氏（陶芸家）をはじめとする人間国宝の作品135点を堪能しました。

来場者からは、「こんなにたくさんの作品を一度に見ることができて本当にうれしいです。このような事業ができる町を誇りに思います」との声が寄せられました。

学芸員による展示作品の解説

岡本太郎氏の作品コーナー

橋本雅邦の屏風前

ステージ上の染織作品

油彩画コーナー